

平成23年(2011年)

5月25日

第14号

躍 動

(江東区体育協会だより)

—編集・発行—

江東区体育協会



〒135-8383

江東区東陽4-11-28

江東区スポーツ振興課内

TEL 3647-4887

体育功労者、優秀選手・優秀チーム等表彰式

平成22年度体育功労者、優秀選手・優秀チーム等表彰式が2月25日、江東区文化センターにて行われました。区民の体育指導に貢献した方や全国大会、都大会等で活躍した選手・チームの皆さんが参加し、熱気あふれる表彰式となりました。

来賓として、山崎孝明江東区長、榎本雄一江東区議会議長、宇佐美衛江東区教育委員会委員長から、表彰される方々への温かい激励のご挨拶をいただきました。

スポーツ特別功労者(2名)

2010年バンクーバーパラリンピック
— 金メダリスト —
新田佳浩選手

新田選手は、3歳の時に祖父が運転したコンバインに巻き込まれて左前腕を負傷し、切断するアクシデントに見舞われました。4歳からスキー、小学校3年の時にクロスカントリーを始め、岡山県代表として中学校2年で全国大会に出場。その際、新井秀樹監督にスカウトされ、パラリンピックをめざしました。

2003年、世界選手権ドイツ大会では、クロスカントリー10kmで金メダルを獲得しました。

2006年トリノパラリンピックでは日本選手団の旗手を務めました。2007年ワールドカップカ

ナダ大会ではクロスカントリーで優勝。2008年ワールドカップクロスカントリーで世界総合3位。

2010年バンクーバーパラリンピック日本選手団主将を務め、クラシカル10kmおよびスプリント1kmで金メダルを獲得しました。

「バンクーバーパラリンピックで2つの金メダルを獲得し、ケガの責任を感じていた祖父に金メダルを掛けるという目標を達成することができました。4年後のソチに向けて競技を続けるか迷う時期もありましたが、昨年末に第1子が誕生したことをきっかけに競技を続行することを決めました。今後の目標は、競技生活を支えてくれている妻と息子にソチの舞台での活躍する姿を見せることです」

2010広州アジア大会セパタクロー日本代表
— 銅メダリスト —
松田祐一選手

私はセパタクローという競技に出会い、約11年半かけてアジア大会のメダルを手にすることができました。定職に就かず練習最優先の日々や数年間のタイ武者修行等、生活のすべてを競技に捧げることで手にした銅メダル。メダル獲得が決まった瞬間、自然と涙が溢れ出し、人目も気にせず泣いてしまいました。

生涯二度とないかもしれない貴重な経験となり、何事も諦めずにやり通すことで未来は開けるものだ確信しています。



体育功労者 (19名)

体育功労者は、体育スポーツ活動の指導と振興に貢献し、社会体育の振興に尽力し、所属団体の要職として体育、レクリエーションの普及振興に功績のあった方々です。各団体から推薦されました。(敬称略)

氏名	団体名
辻 井 功 子	水泳連盟
山 本 隆 幸	軟式野球連盟
高 橋 武 男	ソフトテニス連盟
高 根 美恵子	卓球連盟
青 木 たか子	バレーボール連盟
名 倉 光 明	剣道連盟
永 井 多恵子	柔道会
植 原 信 義	弓道連盟
清 水 晃	釣魚連合会
小 堀 修 一	バドミントン協会
渋 沢 哲 雄	サッカー連盟
木 村 勉	テニス連盟
古 賀 勝 雄	ラジオ体操連盟
花 澤 一 男	なぎなた連盟
岩 城 信 一	ソフトボール連盟
市 村 静 江	ゲートボール連盟
赤羽根 舜 子	ダンススポーツ連盟
宮 本 隆 志	ビーチボール協会
佐 香 哲 哉	小学校体育連盟



表彰は、小堀修一様

スポーツ功労者 (8名)

スポーツ功労者、スポーツ功労チームは、競技種目別日本選手権大会、国民体育大会、全国中学校選手権大会等の全国大会の三位以内入賞者、三位以内の入賞チームで、加盟団体から推薦された選手、チームです。

西野友毬選手

- ◎国民体育大会冬季大会フィギュアスケート
女子シングル 総合優勝
- ◎全日本選手権フィギュアスケート
女子シングル 6位



私は昨年末に全日本選手権、今年3月に世界ジュニア選手権に出させていただきました。ここまでくためにたくさんの努力を積み重ねてきました。私は幼稚園から11年間スケートを続けてきて小学校から今も学校が終わって放課後毎日直接練習に行きます。昨年、半年カナダで練習したこともあり、今も試合でよい演技ができるよう努力しています。練習の中でつらいこともたくさんありました。しかし、先生方や両親、ファンの方々の支えがありここまでこれたのです。

今、今回の地震でいつも使っているスケートリンクが使えない状態で練習する場所や時間の確保が大変です。しかし、被災地の方々に比べれば練習できている私は幸せだと思います。被災地でつらい思いをしている人々のためにも今、私ができる限りのことをやり、今後も一生懸命がんばっていきたいと思います。



安藤圭太選手(陸上競技協会)

- ◎南関東高校体育大会陸上大会
110mハードル 14秒78 1位
- ◎全国高校総体陸上競技大会
110mハードル 14秒42 2位



中央が安藤圭太選手

沖縄インターハイに於いて、110Mハードルで準優勝しました。優勝をめざしていたため悔しいものでしたが家族や先生方、応援していただいた方々に心から感謝しています。

インターハイ出場への道のりは非常に長く険しいものでした。高校に入学してからは環境の変化や度重なる怪我に苦しみ、記録が伸び悩んで辛い時期もありました。しかし、周りの方の支えによって、高校3年にしてインターハイ初出場を決めることができました。インターハイ前には第三亀戸中学校時代の恩師である池田剛先生のもとで調整練習をさせていただきました。私の原点である池田先生や夢の島競技場なくしては、今の私はありません。

大学進学後も競技を続け、日本を代表する選手になれるよう着実に力をつけていきたいと思っています。

角山貴之選手(陸上競技協会)

- ◎日本陸上選手権大会
三段跳び 15m96 3位

松田仁美選手(水泳連盟)

- ◎ジャパンマスターズ2010
200m個人メドレー 2分19秒28(日本新)優勝
- ◎日本実業団水泳競技大会
200m個人メドレー 2分21秒45 優勝

市川夏波選手(水泳連盟)

- ◎国体水泳競技会
400mメドレーリレー 4分8秒96 2位



市川拓海選手(水泳連盟)

- ◎全国高校選手権水泳競技大会
200m個人メドレー 2分2秒51 優勝
200m自由形 1分50秒94 2位
- ◎国体水泳競技大会
100m自由形 50秒59 優勝



市川選手は、生後3ヶ月でベビースイミング、3歳から本格的に級を与えられるクラスに入ったところ、幼稚園で1級(最上位)になり、育成コースへ進んでいました。

中学時代は、バスケットボール部で大活躍し新人戦と夏季大会で江東区3位に入賞しました。夏季大会の前には、水泳大会をキャンセルしてバスケの大会に出場したのです。

高校に入ってから朝練や大会で、4時、5時起きは当たり前でした。体調管理をしっかりしてさらに上の目標をめざしています。

(深川七中広報より)

小山知子選手(なぎなた連盟)

◎国民体育大会なぎなた大会 成年女子演技競技 優勝

◎都民体育大会 団体試合 1位

私は、19年間、日本の武道である『なぎなた』を続けてきました。小さい頃は道場で友達ができたり、一緒に遊べるという感覚で通っていましたが、高校入学後はなぎなた部としての活動を通して仲間と出会い、団体でインターハイに出場できたことが今でも青春の思い出として深く心に残っています。

また、去年は国民体育大会に於いて念願の総合優勝を果たすことができ、日頃からご指導くださる先生方、先輩方をはじめ、応援して下さるたくさんの方々に心から感謝の気持ちでいっぱいでした。2年後に開催される東京国体に向け、これからも日々精進していききたいと思います。

中段右側が小山知子選手



芝本航矢選手(空手道連盟)

◎全日本少年少女空手道選手権大会

6年生男子 組手の部 優勝

2年生の時、都の『形』代表選手として全日本大会で優勝、今度は『組手』で日本一になろうと決心しました。しかし毎年結果が出せず6年生で絶対勝つ、と決めました。道場が休みでも自宅練習で一日も欠かさず突きやけりなど今まで以上に反復練習を繰り返しました。足裏に水泡ができたり血でにじんだりしたが痛みより負けた悔しさが僕を一生懸命にさせました。今年『組手』で日本一になれたのはこのような思いと指導して下さった先生や先輩、応援してくれる仲間のおかげです。今後は全国中学校空手道選手権大会で優勝をめざし努力していきたいです。



スポーツ功労チーム(2チーム)

日本ユニシスバドミントン部(女子)

◎バトミントン日本リーグ2010 女子団体優勝

2008年に本格発足した日本ユニシス実業団女子バトミントン部は、『日本リーグ2010』にて1部リーグ初参戦で初優勝に輝きました。連覇の男子チームとあわせ、同一所属チームの男女同時優勝という史上初の快挙を成し遂げたことは日頃より練習場所を提供いただいている江東区の皆様のおかげです。本年は男女ともロンドン五輪の出場権を賭けたレースに挑み、区内からより多くのオリンピック選手を誕生させられるよう尽力してまいります。ご声援をよろしくお願いします。



日本ユニシスバドミントン部(男子)

◎バトミントン日本リーグ2010 男子団体優勝

区内豊洲に本社を置く日本ユニシス株式会社実業団バトミントン部は、日本バトミントン界に貢献し、世界で活躍できるトップ選手の輩出をめざして日々活動しております。

男子チームは、昨年末に行われた国内トップリーグ『日本リーグ2010』において2年連続4回目の優勝を果たし、また海外でも世界選手権、オーストラリアオープンなど数々の大会で入賞を勝ち取りました。シドニー、アテネ、北京に続き4度目となるオリンピック選手輩出をめざし、本年も邁進してまいります。皆様の熱い応援をお願いします。



体育優秀選手(39名)

体育優秀選手、体育優秀チームは、都大会(都教育委員会、都体育協会が主催または共催する大会)の上位(三位以内)入賞者、入賞チームです。

(敬称略)

氏名	大会・種目	順位
大熊 啓史	都民駅伝6区区間賞	1位
渡辺 修	都民陸上1500m	1位
	墨東五区陸上1500m	1位
	都民駅伝5区区間賞	1位
石見源太郎	墨東五区陸上走り幅跳び	1位
	墨東五区陸上400mリレー	1位
	都民陸上走り幅跳び	1位
	都民陸上400mリレー	2位
佐藤 一桐	都民陸上砲丸投げ	1位
大野 恭身	都民陸上走り高跳び	1位
	都民陸上400mリレー	1位
阿部 団	墨東五区陸上砲丸投げ	1位
	都民陸上400mリレー	2位
田邊将大良	都高校陸上400mハードル	1位
	国体陸上110mハードル	4位
河野 陽一	墨東五区陸上5000m	1位
遠藤 昌志	墨東五区陸上壮年5000m	1位
馬場梨花子	墨東五区陸上一般200m	1位
田中 悠古	墨東五区陸上女子砲丸投げ	1位
	都高校陸上女子円盤投げ	1位
白鳥 愛	墨東五区陸上走り幅跳び	1位
奈良部利昭	日本スポーツマスターズ ソフトテニス	優勝
渡辺 何夫	全日本ターゲットバードゴルフ ジュニアの部	優勝
花澤 一男	都シニア剣道大会 80～85歳の部	2位
金野 夏月	都なぎなた小学5・6年の部 試合競技	優勝
	都スポーツ少年団交流大会 試合競技	優勝
	小学5・6年の部 演技競技	3位
	全日本少年少女大会 試合競技	優勝
	小学5・6年の部 演技競技	優勝
田中 里彩	都なぎなた小学5・6年の部 試合競技	3位
	都スポーツ少年団交流大会 試合競技	3位
	小学5・6年の部 演技競技	優勝
	全日本少年少女大会 試合競技	3位
	小学5・6年の部 演技競技	優勝
菊池 望	国体なぎなた少年女子の部 試合競技	4位
	都スポーツ少年団なぎなた 高校生の部	2位
	国体なぎなた都予選会 少年女子の部	2位
清水 郁子	国体なぎなた少年女子の部 演技競技	5位
	試合競技	4位
	都スポーツ少年団交流大会 演技競技	優勝
	高校生の部 試合競技	3位
栂澤英由未	都スポーツ少年団なぎなた 高校生の部	2位
小原百合奈	都なぎなた 一般三段以上の部	3位

氏名	大会・種目	順位
谷本由香里	都なぎなた 一般三段以上の部	優勝
	都民なぎなた 団体	1位
川崎科代子	都なぎなた 壮年三段以上の部	優勝
青柳 杏奈	都短水路水泳 100m自由形	1位
	関東水泳 50m背泳(大会新)	2位
	全国少年少女水泳 100mバタフライ	2位
	全国ジュニアオリンピック 200m個人メドレー	4位
福島 豪太	全国ジュニアオリンピック都予選 50m平泳ぎ	3位
	全国ジュニアオリンピック都予選 100m平泳ぎ	3位
	区民大会 50m平泳ぎ(大会新)	2位
	体育の日水泳100m平泳ぎ(学童新)	
長倉 豊	区民大会50m平泳ぎ(大会新)	1位
	区小学水泳100m平泳ぎ(大会新)	1位
畠山 武	全国空手ドリムカップ 小学1年	優勝
	全国空手関東大会 小学1年	優勝
渡部しずか	都中学地域別陸上走高跳	優勝
	都中学陸上選手権走高跳	2位
	全日本中学通信陸上都大会 走高跳	3位
	関東中学陸上走高跳	
浅澤 豊	都中学陸上4種競技	2位
	全日本中学通信 4種競技	優勝
	陸上都大会 110mハードル	3位
	全日本中学陸上4種競技	
松尾 咲子	都中学陸上800m	2位
	全日本中学通信陸上都800m	2位
	関東中学陸上800m	7位
	都中学支部陸上1・2年800m	1位
柳澤 宏樹	都中学水泳200mバタフライ	1位
	区中学連合水泳50mバタフライ	1位
	都学年別水泳3年 100mバタフライ	3位
堀内 啓生	都中学校陸上800m	1位
	関東中学陸上800m	4位
	都中学支部対抗陸上800m	2位
佐藤 大知	都中学支部対抗陸上3年100m	3位
荻野紳太郎	都カヌースプリント500mk-1	3位
	都カヌースプリント500mk-2	1位
	国体関東ブロック500mk-2	5位
	国体カヌースプリント500mk-2	3位
金 ビヨリ	都カヌースプリント500mk-1	2位
	都カヌースプリント500mk-2	1位
	国体関東ブロック500mk-2	5位
	関東カヌースプリント500mk-2	3位
壽 朋美	都中学体育大会柔道女子63キロ級	3位
泉 真生	都中学新人女子柔道大会70キロ級	1位
藤島 千里	都中学体育大会50m平泳ぎ	1位
	都中学学年別水泳大会50m平泳ぎ	2位
藤島 千夏	都中学学年別水泳大会50m平泳ぎ	2位

体育優秀チーム(19チーム)

団体名	種目部別	順位
都民陸上大会 江東区女子チーム	女子の部	優勝
都民陸上大会 江東区男子チーム	男子の部	準優勝
都民陸上大会 江東区女子リレーチーム	女子400mリレー	優勝
都民陸上大会 江東区男子リレーチーム	男子400mリレー	準優勝
都民駅伝大会 江東区チーム	男子の部	3位
墨東五区陸上大会 江東区チーム	総合の部 男子の部、女子の部	優勝 優勝
墨東五区陸上大会 江東区リレーチーム	男子400mリレー	優勝
佐川急便関東	都秋季軟式野球大会	準優勝
	全日本軟式野球大会 都軟式野球王座決定戦	優勝
ソフトテニス区代表チーム	都支部大会	3位
M A R S	墨東五区バレーボール大会 一般女子6人制	優勝
区弓道連盟女子チーム	墨東五区弓道大会 五区対抗女子の部	優勝
女子バドミントンチーム	墨東五区女子団体	優勝
区バスケット選抜チーム	都民大会男子の部	3位
区ミニバスケット選抜チーム	ミニバスケット区部大会女子	優勝
チーム江東	都民テニス大会	3位
区なぎなた選抜チーム	都民なぎなた大会	優勝
ブレイブ	都民ゲートボール大会 南関東ゲートボール大会	優勝 優勝
深川三中駅伝チーム	都中学駅伝大会	2位
かえつ有明中学校 サッカー部	都中学春季大会	優勝
	都中学選手権大会 関東中学大会	優勝 8位



空手道体育優秀選手 島山 武選手

生涯スポーツ優良団体(1団体)

生涯スポーツ優良団体(スポーツクラブ)は、スポーツレクリエーションの普及、振興に功績のあった団体で、クラブの活動と運営が定期的、計画的、組織的に行われ、その実績が年々向上している団体です。

三亀クラブ(バレーボール連盟)

私たち三亀クラブは、43年前に創部した家庭婦人のバレーボールチームです。

創部当時は、校庭での試合で、風雨や日差し等で悩まれ、次に学校の体育館を使用できるようになり、今は立派なスポーツ会館やセンターで素晴らしい条件で試合することができるようになりました。これからも練習に励み長く続けられるように皆でがんばります。



昭和48年のころ

江東区少年剣道大会開催される

第39回江東区少年剣道大会が2月23日(日)、スポーツ会館で盛大に実施されました。

小学生低学年の部、高学年の部、中学生の部、団体の部など、個人戦220名、団体戦13チームが各部の優勝をめざしがんばりました。

最優秀選手には、福住剣友会所属の福留千佳さんが選出されました。



第64回(平成22年度) 江東区民体育大会 優勝者・チーム

スキー

一般男子1部	吉田 要
一般男子2部	畑中 真一
一般男子3部	天野 学
一般男子4部	東海林 定治
一般女子1部	村岡 美紀
一般女子2部	西川 久美
オープン競技小学生男子	渡邊 智
オープン競技小学生女子	渡邊 倭
オープン競技中高生男子	渡邊 晃
オープン競技一般男子	藤本 和夫
オープン競技一般女子	藤本 知子

ライフル射撃

SFRP-60の部	飯 直人
ARS-60の部	小松原 純子
HR-60の部	山中 義昭

バスケットボール(小学生の部)

小学生男子の部	豊洲ミニバスケットクラブ
小学生女子の部	深川ミニバスケットクラブ

駅伝競走

一般	江東シスターズ のぞみ
壮年	日本通運(株)関東 警送支店プチ駅伝部
中学	深川三中A
女子	深川三中A

サッカー

少年の部	砂町サッカークラブ
------	-----------

賛助会費募集 ご協力ありがとうございました。

平成22年度の江東区体育協会賛助会費募集にご協力いただきましてありがとうございました。5371口の賛助会費が集まりました。賛助会費は江東区のスポーツ振興、競技力向上に役立たせています。23年度もご協力お願いいたします。

ニュースポーツ紹介

江東区で設立された二つの総合型地域スポーツクラブでキンボールスポーツが採用されています。また区内の各スポーツセンターで行われている「小学生スポーツ塾」や「みんなでスポーツデー」などでも多く採用されているキンボールスポーツを紹介します。

キンボールスポーツ

キンボールスポーツは、1986年カナダ・ケベック州のマリオ・ドゥマース氏が考案した新しい概念のボールゲームです。2年に一度、国際大会のワールドカップが開催されますが、今回は日本が招致し、今年11月に宝塚市で開催されます。

キンボールスポーツは、4名1組の3チーム(ピンク・ブラック・グレー)がコートに入り、直径122cm・重さ約1kgのボールをヒット・レシーブして行うゲームです。コート内でゲームを行うのは、1チーム4名と決まっています。ただし、各チームの登録は最大12名で反則やミスがあつてゲームが中断した時にメンバーを交代することができます。

(基本的なゲームの流れ)

- ①各チームのキャプテンがコートの中央に集まってジャンケンをし、ヒット・インチーム(試合開始時の先攻)を決定。
- ②ヒット・インチームの3人が、コート中央でボールを支え、チームの1人が「オムニキン」と叫び、続いてレシーブチームの色を叫んでから、ヒッターがボールをヒットします。
- ③色を指定されたチームは、ヒットされたボールが床に落ちる前にレシーブをします。
- ④レシーブは、手や足など体のどの部分を使ってもOKです。レシーブ後、ボールを持って移動しても、パスをしてもかまいません。ただし、3番目のプレーヤーがボールに触れたら、その場所から足は動かさません。
- ⑤今度はレシーブチームが、ヒットチームになります。②と同様に3人でボールを支えてヒットします。
- ⑥ヒットが下向きだったり、1.8m以上飛ばなかったり、レシーブに失敗すると、他の2チームに1点ずつ得点が与えられます。

東陽・木場地域スポーツクラブ 平成23年2月19日設立

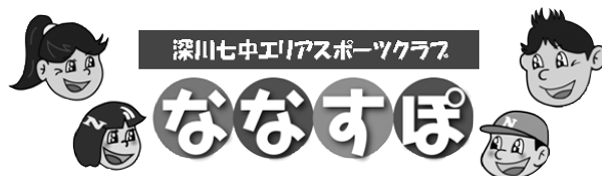
「みんなでつくる伝統、未来 水彩都市・江東区」その江東区の行政・文化の中心に位置する東陽・木場地区に、「だれでも」「いつでも」「どこでも」気軽に楽しくスポーツができる、江東区で二番目となる非営利の地域住民主体の総合型地域スポーツクラブ、『東陽・木場地域スポーツクラブ』が発足し、平成23年4月1日より正式に事業を開始する運びとなりました。

このスポーツクラブは、地域の小学生、中・高校生から大人まで、特に日ごろスポーツに接する機会の少ないお父さん、お母さんも一緒に、また高齢者や障害のある方々が、お一人でも参加できるニュースポーツなどを取り入れ、少額の会費をご負担頂きながら、地域内の方や近隣の住民の方々が運営の主体となる、手作りのスポーツクラブです。そして、参加される方々が楽しくスポーツに興じて体力・気力を維持しつつ、スポーツを通じて東陽・木場地域住民の連帯感、活性化にも寄与して頂くことを願っております。また、将来的にはスポーツの他、文化活動やクラブ主催の運動会なども計画したいと思っております。

地域の皆様の積極的な会員としての加入、ボランティアとしての参加、お知り合い・ご友人の方へのお声がけ、指導員の推薦等も含め今後のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。

東陽・木場地域スポーツクラブの「理念」

1. 子供の身体・精神発育をスポーツにより、身体強健・精神健全な発育を促し、かつスポーツを行う際のルールを守ることで社会性を身につけさせ、良識ある社会人となることを望むものである。
1. 成熟した社会の人生を、より楽しんで過ごすための媒体として、各人に合ったスポーツを行い、またそれにより健康の増進を図り、他人と交わることによって各人の精神健康をも図る。
1. 複雑な現代社会にあって、家庭を顧みることの希薄な人々が、大切な休日や余暇時間を家族と共に過ごす機会を提供できる存在になろうとするものである。
1. スポーツを通して、失われつつある地域内でのコミュニケーションの活性化を図り、人間関係を円滑にし、地域全体が住みやすく楽しい社会となることを希求する。
1. 地域の熟成された人間関係は、稀に弊害があったとしても、孤独な生活を癒し、かつ地域に貢献する喜びをも与えてくれるものである。



ななすぽは、平成23年4月で3年目を迎えました。体育協会、体育指導委員会、地元町会のみなさんや参加者の方々のご協力で、現在12種目の教室を開催しています。夏は『ななすぽまつり』として各種目を一度に体験できる“まつり”を、冬には江東マラソンクラブと共催で『新春ロードレース』と通常の教室のほか様々なイベントを実施。たくさんの方に参加していただきました。

【こどもからおとなまで】

当初こどもの参加者が多かったのですが、昨年から開始した健康体操・健康吹き矢には年配の方にも参加していただけるようになりました。多世代が通うことができるようになったななすぽ。カローリングを中心に多世代が一緒にゲームできる、そんな環境を作っていきます。

【地域との連携】

ななすぽまつりや新春ロードレースのほかに、小松橋地区カローリング大会への協力、区内一斉清掃日にスポーツごみ拾い大会の開催など地域のイベントへ積極的に参加しています。ななすぽ staffとしてイベントに参加することで地域へアピールしていきます。

【3年目のななすぽ】

深川七中・東川小・毛利小を使って各種目を月2回開催しています。運営スタッフは各校のPTAやOBなどが中心になり、少しずつ輪が広がってきています。これからも地域のみなさんや会員の方々にご協力いただきながら、地域に根付いたクラブとなりますように、4年目・5年目の運営体制を考えながら教室を開催していきます。また、今年は東京スポーツリンクと協力し「車椅子バスケットボール」を都立大江戸高校で開催する予定です！

